

枅富町長 皆さん、おはようございます。本日、ここに令和7年第1回定例会を招集しましたところ、議員各位におかれましては、公私何かとご多用中のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。議案説明に先立ちまして、年度の始めとなりますので、町政の取組みに対する一端を述べさせていただき、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。牟岐町は現在、災害時防災拠点の機能を備えた、役場新庁舎と海部消防組合新庁舎建設にあたり、造成工事を進めています。令和7年度早々には建築工事の発注を行い、令和8年度末の完成を目指しています。南海トラフ巨大地震対策としましては、事前復興計画策定にむけた検討会を重ね、このほど事前復興計画を策定しました。今後とも危機管理監を核として、南海トラフ巨大地震などの大規模災害及び自然災害が発生した場合など、緊急事態の発生時の初動対処に万全を期すため、迅速かつ的確な意思決定と各課の横断的、総合的な対応及び他の関係機関との協力体制を築きます。次に、人口減少・少子高齢化対策、農林水産業、商工業の振興などについては、令和6年度に人口ビジョンの改訂・第3期牟岐町総合戦略を策定し、「牟岐町への新しい人の流れをつくる」「牟岐で安心して働ける雇用の場をつくり、これを支える人材をつくる」「結婚・出産・子育ての希望を叶え、誰もが活躍できる地域社会をつくる」「時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携をつくる」の4つの基本目標を掲げ、人口減少・少子高齢化対策、農林水産業、商工業の振興などの地方創生を推進するため、取り組んでまいります。人口は、町の体力そのものであり、少しでも人口減少を食い止めていかなければなりません。一次産業の振興としましては、引き続き一次産業の方々とは協議し、知恵を出し合い、今後の一次産業の活性化をあらゆる角度から考慮し、施策を展開したいと考えています。後継者の育成、若い世代の取り組みについては、特に支援を続けてまいります。商品開発・特産品開発の点では、引き続き徳島文理大学がJAと連携し、もち麦、実生ゆずなどを活用した特産品の開発を進めておりますので、水産資源栽培センターを活用して共同研究しているヒトエグサや、ジビエ活用とも連携を図り、ふるさと納税返礼品や、町内飲食店での新たなメニューの開発に取り組んでいただけるよう支援を考えていきたいと思っております。次に、少子化対策といたしましては、妊娠・出産に対して給付金を支給するとともに、保健師や助産師による相談や情報提供、家庭訪問など併せて実施することで妊産婦の不安の軽減に努めます。子育て家庭については、乳幼児相談、健診、発達相談、教室等を引き続き行います。また、新たに不妊治療費助成やインフルエンザ予防接種費用の助成など、子育て支援が充実するよう努めてまいります。高齢者支援といたしましては、高齢者の健康寿命延伸のために、これまでのフレイル予防教室に加え、前期高齢者の方を対象としたスマホアプリ

リを用いたフレイル予防教室を実施します。認知症関連としましては、認知症の方ご本人・家族の支援ニーズと認知症サポーターをつなぐ仕組みである「チームオレンジ」の充実を目指します。今後とも、老人会や社協、各事業所等のご協力をいただきながら、高齢化の生きがいと健康づくりに取り組み、みなさまが住み慣れた牟岐町で、人生の最期まで自分らしく生活できるよう、取り組んでまいります。移住につながる施策として「交流人口」、「関係人口」を増やしていくため、モラスコむぎとの連携や、牟岐ふるさと会活動で、牟岐ゆかり店の情報を収集、発信し牟岐人の輪を育み、不慣れな土地で孤立せず相談できる拠点として、全国に散らばった牟岐ふるさと応援店マップを作成し、町とのつながりをより深めていただけますよう進めてまいります。道路網の整備促進に関しては、阿南安芸自動車道、牟岐バイパスの早期完成に向け関係自治体と連携し、国への要望活動に組み、交通網の充実を図ります。現在、大型事業が重なり、財政状況が大変厳しいなか、緊縮財政に努めなければなりません。事務事業の見直しも必要になると思いますが、牟岐町を元気にするため、みんなで知恵を出し合い、ひとつひとつ誠意をもって、それぞれの課題解決に向けて、これからも取り組みを進めてまいりますので、今後の皆さま方のご指導、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

議案等の提案説明に入る前に、12月議会以降の町政の動き、主な事務事業の進捗状況など行政報告をさせていただきます。総務課関係では、12月に、本町では初めてとなる令和6年度牟岐町災害対処実動演習を実施しました。1月には、庁舎建設の財源として、市町村振興資金の借入を後藤田知事へ要望してまいりました。また、2月から内部事務システムの運用を開始し、出退勤打刻などICカードで行うようになりました。デジタル推進課関係では、2月にホームページをリニューアルしました。今後ともわかりやすいホームページでの情報提供に努めてまいります。住民福祉課関係では、物価高騰に対する支援策として本年1月1日時点で高校3年生までの子どもと妊婦の方に5万円を2月初旬に給付をさせていただきました。また国の低所得者世帯への支援策である給付金3万円は2月末から非課税世帯の世帯主の方へ給付を開始しています。健康生活課の保健事業では、総合健診を1回、エコー検診を5回実施した他、ICTを活用した健康づくりを実施しました。ヘルスメイト事業関係では、生涯骨太クッキング、全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクトを開催しました。母子保健事業では、乳幼児相談を4回、乳幼児健診・離乳食教室をそれぞれ1回実施し、自殺予防対策として、中学生を対象にした助産師による「いのちの授業」を行いました。介護予防事業では、認知症の方本人及び家族の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした、支援者をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」の立ち上げを行いました。産業課関係では、牟岐町観

光協会の主催により「第42回牟岐町観光磯釣大会」が、2月23日に行われました。また、「釣〜リズムフェスティバル2025徳島県知事杯 Vol.0」が、1月13日に開催され、多くの釣り客に参加をいただきました。地産地消事業として、学校給食に地元で獲れたアオリイカ、ジビエを使用したメニューや牟岐のもち麦を提供することができました。また、徳島県庁職員食堂において、徳島県庁ジビエフェアとしまして、牟岐町内で捕獲されたシカのジビエ料理が期間限定ですが、提供することができました。企画政策課関係では、令和6年12月に、関西圏における関係人口の拡大および連携強化に向け、大阪・京都において大阪公立大学松本ゼミ、京都産業大学木原ゼミと連携した企画・イベントを実施しました。また、モラスコむぎにおいて、徳島文理大学もちっとむぎゆっとの会のメンバーが一日限定でカフェを開店し、町民の方々の交流を行い、徳島大学建築サークルAUTの学生が「あそびの広場」「市宇ヶ丘交流センター」の看板の取り付けを行うなど、多種多様な活動が行われました。2月15日は、「大学・学生団体」の活動報告会を行い、学生間に限らず、町民の方々に向けた活動報告の場を設けました。大学生の活動を町民の方々により伝えていくための取組も今後強化していきたいと考えています。また、ふるさと納税について、本年度、令和6年4月1日から1月31日までの寄付金額は、昨年度の「176万2千円」から約3.6倍の「642万6千円」となりました。今後は、町内の魅力的な返礼品の掘り起こしに加え、情報発信に力を入れ、牟岐町を応援したいと思える方々を増やしていく取り組みを強化してまいります。建設課関係では、2月10日、国土交通省四国地方整備局から阿南安芸自動車「美波〜牟岐」間について、計画段階評価に着手すると発表がありました。今後は、牟岐町・美波町の地域住民アンケートや関係団体の意見聴取をする予定であり、評価にかかる期間は現在のところ未定となっています。繰越事業は、観音寺川災害復旧工事が竣工しています。現年事業は、急傾斜地崩壊対策工事(川長地区、杉谷地区)を発注し、過年度災害附帯工事の町道灘線と町道小張山線が竣工しています。また、空き家対策総合支援事業で4件の除却と1件の改修をしています。役場新庁舎および海部消防組合新庁舎建設事業では、12月に造成工事を発注し、請負業者と協議の上、1月28日に造成工事の進め方や各種対策について山田地区の皆様にご説明させていただいた後、造成工事に着手しました。また、来年度より着手する建築工事については、海部消防組合新庁舎の建築も牟岐町が主となって一括発注する方が、金銭的および工事調整の面から大きなメリットがあることから、当初に海部消防組合と締結した「造成工事まで牟岐町が主となり施工する内容の基本協定」を見直し、負担金を支払う美波町・海陽町に対し内容を説明し、ご理解をいただきました。水道課関係では、防災拠点整備山田地区配水管の耐震管

布設替工事が2月末に完了しました。教育委員会関係では、新しく二十歳となった方々を迎え「牟岐町二十歳の集い」を1月3日に開催し、3月1日には「春恋」と題しまして、婚活イベントを牟岐少年自然の家におきまして、海部郡婦人連合会主催で開催し、教育委員会は後援として運営の補助をしました。今後も、事業等の進捗状況等ご報告させていただきますので、皆様のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。

それでは、本定例会の提案説明に入りたいと思います。タブレットのリストから10番3月議会議案書をご覧ください。本定例町議会に提出の案件は、25件です。内訳は報告1件、条例12件、補正予算3件、当初予算6件、人事案件1件、その他2件です。報告第1号専決処分した事項の承認。専決第1号令和6年度牟岐町一般会計補正予算。タブレットのリストから11番2月補正予算（一般会計）をご覧ください。この専決予算は、低所得者世帯支援及び定額減税不足額給付金を早急に給付する必要があったため、2月13日に専決をしました。歳入・歳出それぞれ総額、2,357万円を追加し、予算総額を44億263万2千円とする令和6年度一般会計の補正予算です。タブレットのリストから10番3月議会議案書をご覧ください。議案第1号行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例。デジタル社会形成基本法の改正に伴う条例です。議案第2号牟岐町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例。管理不全状態にある空き家等に対して、緊急に対応する必要が認められる場合、必要最小限度の範囲で応急的措置を行うための根拠として定めるものです。議案第3号職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例。育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴う条例です。議案第4号牟岐町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。令和6年人事院勧告に伴う牟岐町職員の扶養手当等を改正する条例です。議案第5号牟岐町税条例の一部を改正する条例。令和7年4月1日以降に賦課する町税の督促手数料を廃止する改正条例です。議案第6号牟岐町督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例。令和7年4月1日より税外収入の督促手数料を廃止する改正条例です。議案第7号牟岐町国民健康保険出産費資金貸付基金条例の一部を改正する条例。改正内容は、令和7年4月1日より督促手数料が廃止されることに伴う関係条例の整備のため、所要の改正を行うものです。議案第8号牟岐町犯罪被害者等支援条例。犯罪被害者基本法にのっとり、犯罪被害者等に必要施策を推進し、犯罪被害者等の権利利益の保護を図ることを目的とした条例です。議案第9号牟岐町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例。改正内容は、令和

7年4月1日以降の後期高齢者医療保険料にかかる督促手数料廃止に伴う条例の一部改正です。議案第10号牟岐町介護保険条例の一部を改正する条例。改正内容は、令和7年4月1日以降の介護保険料の督促手数料廃止に伴う条例の一部改正です。議案第11号牟岐町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。改正内容は、介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布により、包括支援センターの人員配置基準 柔軟化に伴う所要の改正を行うものです。議案第12号牟岐町簡易水道給水条例の一部を改正する条例。改正内容は、督促手数料の廃止によるものです。議案第13号牟岐斎場の指定管理者の指定。指定管理者に、徳島県農業協同組合を指定するもので、期間は令和7年4月1日から令和8年3月31日までとなっています。議案第14号 農水産物処理加工場の指定管理者の指定。指定管理者に徳島県農業協同組合を指定するもので、期間は令和7年4月1日から令和10年3月31日までとなっています。議案第15号令和6年度牟岐町一般会計補正予算。タブレットのリストから12番3月補正予算案（一般会計）をご覧ください。今回の補正予算の総額は、5,600万1千円となっています。歳出の主なものを挙げますと、2款総務費の庁舎移転費の実績に伴う減額分などを計上。3款民生費の社会福祉費障害者総合支援法関係の介護給付費の追加分などを計上。4款衛生費の牟岐町簡水繰出金の出羽島簡水不足分を計上。5款農林水産業費の地籍調査費に令和7年度に繰り越す分などを計上。8款消防費の常備消防費で海部消防組合負担金庁舎分などを計上。9款教育費の給食材料費の物価高騰分などを計上。歳入では、繰越金のほか、国庫支出金、県支出金、町債などを特定財源として充てています。歳入歳出、5,600万1千円を追加し、予算総額を44億5,863万3千円とする令和6年度一般会計補正予算です。議案第16号令和6年度牟岐町簡易水道事業会計補正予算。タブレットのリストから13番3月補正予算案（水道事業会計）をご覧ください。今回の補正予算は、従来の出羽島簡易水道の補填分を一般会計からの補助金として116万円計上し、水道事業収益の総額を1億4,963万円、海部郡衛生処理事務組合の水道管工事負担金として150万円計上し、資本的収入の総額を5,645万円とするものです。議案第17号令和6年度牟岐町介護保険特別会計補正予算。タブレットのリストから、14番3月補正予算案（介護特別会計）をご覧ください。今回の補正は、歳入歳出それぞれ5,610万円を追加し、予算総額を7億8,331万9千円とする補正予算です。歳出は、保険給付費の介護サービス等諸費で5,610万円の増額です。歳入は、介護保険料が

1, 290万3千円の増額、国庫支出金が1,402万5千円の増額、一般会計からの繰入金が701万3千円の増額などです。議案第18号令和7年度牟岐町一般会計予算。タブレットのリストから15番当初予算案（一般会計）をご覧ください。令和7年度の予算総額は、68億6,327万3千円で、令和6年度当初予算額より37億5,032万2千円の増額予算となっています。新年度の予算で、新たなもの、特徴的なものについて述べます。まず、人件費ですが、総額で224万4千円の減額となっています。前年度と比較して、正規職員が2名の減、会計年度任用職員が6名の減の人件費総額となっています。40ページ、1款議会費は21万2千円の増額です。前年度とほぼ同程度の予算編成です。42ページ、2款総務費は32億433万3千円の増額です。大きな要因は、庁舎建設費で役場庁舎及び消防庁舎の工事請負費を計上していることです。59ページ、3款民生費は316万4千円の増額です。老人福祉費で老人保護措置費増額。児童福祉費で児童手当が高校生までになったことによる増額分も予算計上しています。73ページ、4款衛生費は2,515万8千円の増額です。清掃費で海部郡衛生処理事務組合負担金が前年度より増額となっています。79ページ、5款農林水産業費は1,344万1千円の増額です。農地費に農業水路等長寿命化・防災減災事業を予算化したことによるものです。86ページ、6款商工費は92万8千円の減額です。前年度とほぼ同程度の予算編成です。91ページ、7款土木費は1,530万3千円の減額です。過疎対策事業が繰り越したことに伴う減額が主な理由です。98ページ、8款消防費は5億7,110万8千円の増額で、大きな要因は、常備消防費の海部消防組合負担金庁舎分などを予算化したことです。102ページ、9款教育費は1,393万1千円の増額です。事務局費に高等学校等通学定期券購入費助成事業を計上。総合文化センター施設管理費でホール空調整備等改修工事設計監理業務委託料などを計上しています。117ページ、10款災害復旧費は100万円の減額です。118ページ、11款公債費は、6,379万4千円の減額です。過疎債平成24年度債の終了が主な理由です。119ページ、12款諸支出金、120ページ、13款予備費は令和6年度と同額です。続きまして、歳入です。7ページ、町税は、前年度比362万7千円増額です。9ページ、地方譲与税は746万6千円増額です。10ページ、利子割交付金は1万円減額です。13ページ、法人事業税交付金は10万円減額です。18ページ、分担金負担金は11億9,469万5千円増額です。海部消防組合からの負担金の増額によるものです。19ページ、使用料手数料は32万3千円増額です。21ページ、国庫支出金は3,739万3千円の増額です。デジタル基盤改革支援補助金の増額が主な要因です。25ペ

ージ、県支出金24万円減額です。33ページ、繰入金は838万4千円の減額です。減債基金2千万円と財政調整基金3億6千万円を取崩し、事業の財源としています。35ページ、諸収入は645万2千円の増額です。雑入で光ケーブルの支障移転工事の負担金を計上しています。37ページ、町債は、当初に過疎債から脱炭素化推進事業債まで合わせて28億5,260万円計上し、前年度より25億910万円の増額となっています。増額分は役場庁舎や消防庁舎等へ充当分となります。一般会計について、大まかな説明となりましたが、詳しくはのちほど、関係課長などから説明をさせていただきますので、よろしくお願いします。議案第19号令和7年度牟岐町簡易水道事業会計予算。タブレットのリストから、16番当初予算案（水道事業会計）をご覧ください。令和7年度の業務予定量としては、給水戸数2,010戸、年間総給水量59万5千 $m^3$ 、1日平均給水量1,631 $m^3$ とし、収益的収入を1億4,585万2千円、収益的支出を1億4,473万8千円と定めるものです。資本的収入は670万3千円、資本的支出は4,355万7千円で不足する額は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。議案第20号令和7年度牟岐町国民健康保険特別会計予算。タブレットのリストから、17番当初予算案（国保特別会計）をご覧ください。歳出では、保険給付費で7,550万2千円の減額、国民健康保険事業費納付金で791万1千円の減額となっています。歳入では、国保税が前年度に比べ2,076万8千円の減額、県支出金が7,646万2千円の減額となっています。歳入歳出当初予算総額を5億5,278万円と定めるもので、前年度に比べ7,730万4千円の減額予算です。議案第21号令和7年度牟岐町青少年健全育成センター特別会計予算。タブレットのリストから、18番当初予算案（育成センター特別会計）をご覧ください。歳入歳出予算の総額を919万5千円と定めるものです。この会計は、美波町と海陽町の負担金と牟岐町の一般会計から169万円の繰入金を財源とする会計です。議案第22号令和7年度牟岐町介護保険特別会計予算。タブレットのリストから、19番当初予算案（介護特別会計）をご覧ください。歳出は、保険給付費6億7,384万6千円、地域支援事業費4,179万8千円などを計上しています。歳入は、介護保険料1億1,332万7千円、国庫支出金2億2,326万1千円、県支出金9,099万2千円、支払基金交付金1億8,707万2千円、一般会計からの繰入金は、1億976万5千円となっています。歳入歳出当初予算総額を7億2,441万7千円と定めるもので、前年度に比べ2,008万2千円の増額予算です。議案第23号令和7年度牟岐町後期高齢者医療特別会計予算。タブレットのリストから、20番当初予算案（後期特別会計）をご覧ください。この会計は、後期高齢

者医療の保険料を徴収し、一般会計からの保険基盤安定負担金分の繰り入れと合わせて、後期高齢者医療広域連合への給付金として支出する会計です。歳入では、特別徴収、普通徴収を合わせ、7,467万3千円の保険料、一般会計繰入金3,338万1千円など、歳出では、広域連合納付金1億736万3千円となっています。歳入歳出当初予算総額をそれぞれ1億888万4千円と定めるもので、前年度に比べ478万8千円の減額予算です。議案第24号牟岐町教育委員会委員の任命。議案第24号としまして、牟岐町教育委員会委員の任命を提出させていただいています。以上で提案説明を終わりますが、詳細については関係課長などから説明をさせていただきますので、よろしくご審議のほど、お願いします。